

株式会社 明治  
2025年3月26日

## 明治、YAKAWと株式会社ヘミセルロースとメキシコ国内でのカカオ ハスクを活用した共同開発に関する覚書を締結 カカオハスクを活用した持続可能なカカオ生産に貢献する取り組みを海外で事業化へ

株式会社 明治（代表取締役社長：松田 克也）は、2025年2月14日（金）に、メキシコ国内でメキシコホワイトカカオの農園を運営管理しているYAKAW（代表：Jorge Esteve）と株式会社ヘミセルロース（代表取締役社長：茄子川 仁）と、メキシコ国内でカカオハスクなどを活用した事業展開に関する共同開発に関する覚書に合意したことをお知らせします。



左から、株式会社ヘミセルロース代表取締役社長 茄子川 仁、株式会社 明治 代表取締役社長 松田 克也、  
YAKAW 代表 Jorge Esteve

当社は、カカオ農家の持続可能性を高める取り組みとして、2006年から現地のカカオ農家まで社員が直接訪問しながら支援を行う「明治カカオサポート」を実施しています。また、2022年からはカカオの新しい価値創造を目指すプロジェクト「ひらけ、カカオ」に取り組んでいます。

当社は、「ひらけ、カカオ」の取り組みの一つとして、カカオ豆の種皮であるカカオハスクのアップサイクルに取り組んでおり、ヘミセルロースと連携してカカオハスクを原料の一部に使用した生分解性プラスチックを開発しました。

また、メキシコのYAKAWと当社との繋がりは深く、2016年から、世界的に希少なカカオ豆である「メキシコホワイトカカオ」※の農園管理で協働しています。

世界規模でサステナブルな取り組みが求められる中、メキシコ国内でカカオハスクを活用した生分解性プラスチックの事業展開を進めるべく、3社で合意に至りました。今後は3社で連携して、2025年度中にメキシコから生分解性プラスチックを活用したストローの生産などの事業展開を目指します。この事業を展開することで、カカオの新たな価値創造に繋げ、創造した価値が、カカオの生産者にも還元されることで、持続可能なカカオ生産の実現に貢献してまいります。

※明治がメキシコ国内の専用農園で栽培している世界的にも希少な「幻のカカオ」。通常カカオ豆の中身は紫色だが、メキシコホワイトカカオは白色であることがその名の由来。苦みや渋みが少なくクリアな風味が特長とされる。

## ■カカオハスクについて

カカオハスクとはカカオ豆の種皮のことです。繊維質で硬く、口当たりや風味が悪くなるため、チョコレート製造の途中で取り除かれます。これまで飼料や肥料、燃料などに使用されてきましたが、当社はカカオハスクの新たな可能性を広げたいという思いから、非食品領域における活用方法の検討を行い、業種を超えた共創によりアップサイクル商品の開発に取り組んでいます。



カカオハスク

## ■「ひらけ、カカオ。」の取り組み

当社は、2022年3月より「ひらけ、カカオ。」をスローガンに、カカオの新しい価値創造に挑戦してきました。チョコレートの原料であるカカオは、発酵に使われる果肉の部分を含めても、3割ほどしか「価値」に変えられていません。カカオをフルーツとして捉え直し、カカオを丸ごと使い切ることで、カカオの価値を高め、カカオ産地への還元につなげていく取り組みです。従来のチョコレートとは異なるカカオの新素材を活用した食品の開発や、2023年6月には非食品領域の新ブランド「CACAO STYLE」を立ち上げ、外部との協業により食品以外の商品化にも取り組んでいます。



「ひらけ、カカオ。」 URL : <https://www.meiji.co.jp/sustainability/newaction/cacao/>

【この件に関するお問い合わせ先】 株式会社 明治 広報部

〒104-8306 東京都中央区京橋2-2-1 T E L : 03-3273-0700 F A X : 03-3273-0900

メールアドレス : meiji.kouhou@meiji.com